

12. お囃子を子ども達に伝え、地域を元気づける

グループ名 鵜ノ木囃子連
代表者 菅谷 唯男

(1) 活動の目的

子供たちが主体となり地域（神社、学校や市）の行事（お祭り・敬老会など）でお囃子を演奏し、地域芸能の継承と地域交流を豊かにする事を目的とします。そのために地域に伝わる鵜ノ木囃子という伝統芸能を子供たちに伝承します。

(2) 活動の概要

鵜ノ木囃子を演じてきた世代が高齢化し、体力的に続けることが難しくなってきました。伝統芸能が消滅することは地域が消沈しかねません。事実、一時期途絶えたこともあり、夏祭りが寂しくなりました。そこで、次世代にお囃子を伝承すると共に、世代間の交流の場を作ろうとグループ（鵜ノ木囃子連）を発足しました。現在 5 名でグループを組み活動しております。子ども達を主役にして地域の行事に参加し、「子供達の健全な人格育成」、「地域の活性化」の一助になればと考え活動しております。

(3) 活動の内容と実施方法

お囃子に参加している子供さんは小学生、中学生そして高校生です。子供たちは、それぞれ、塾や習い事や、部活動があり、中々一緒に時間を共有することが出来ません。さらに、教える師匠にも都合があり、全員が揃って練習することは難しい現実を抱えております。お囃子の練習は土曜か日曜になり、平均して、月に 2 回練習日を設けて励んでいるのが現状です。幸い大学生や高校生が小さい子の面倒をよく見てくれるのが救いです。

お囃子は、締太鼓、大太鼓、鉦、笛、踊りの五つから構成されております。現在の陣容は、お囃子の師匠 4 名、世話役 1 名、子ども達 10 名、お母さん方の手伝い 3 名。

新しく入った小学生と、中学生、高校生の間では、技術的な格差があるので、指導方法に工夫しています。太鼓の音の大きさから、近隣への影響も考えざるをえません。最近太鼓製造業者から、そのようなことを考慮に入れた製品（みるみる上達君：写真 10）が販売されていることを知り、新規に購入し使用しております。笛奏者の育成が一番難しく時間のかかるところで、現在、大学生となった先輩が、高校生を指導しております。踊りは基本を師匠から学び、他の地域での踊りを見に行き、参考にしております。（写真 7. 飯能祭りに見学に行く）

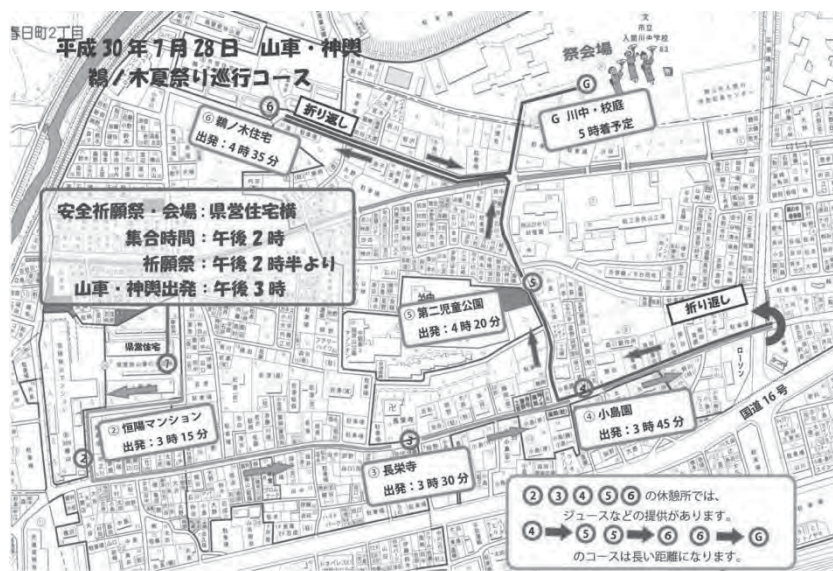
さかのぼって平成 28 年 7 月 29 日（土）、この日は夏祭りでした。山車や神輿が揃い、巡行の安全祈願祭を終え、山車が動き出しました。この頃より、雨が降り出し、次第に強くなり、止む気配はありませんでした。会場や巡行先の準備も終わっていることから、巡行を続行することとなり、山車も神輿もずぶ濡れになりました（写真 3, 4 雨の中の巡行）。特に山車の飾り付けがひどく傷み、同年の敬老会や翌年（平成 30 年）の夏祭り実行があやぶまれました。

幸い、平成29年貴事業団の助成金を受けることが出来たので、山車の補修ならびに教材の補強費用に充てる事としました。

このおかげをもって、本年の「つつじ祭り」（写真8. 見晴台の上に座り机を置き、机が見えないように購入した紅白幕で囲い、飾り板で足下を隠す）には新しい紅白幕をお披露目することが出来ました。その上、なんとか小学生も自宅で練習できる太鼓（写真10. みるみる上達君）で腕を磨き、演じることが出来た次第です。この「つつじ祭り」の様子は5月5日～7日、の3日間地元狭山ケーブルテレビのタウンニュースで、日に5回「つつじ祭り」の様子が放映されました。放映の中でお囃子の紹介はほんの数秒でしたが、私どもの活動が知れ渡った（入間市、所沢市、日高市、狭山市等へ）ことと思います。

平成29年10月15日当地の自治会館で敬老会が開催されました。生憎この日も雨で、山車小屋から山車（写真5、6）をださずに、山車を飾り付け 敬老者の訪問を迎えることになりました。例年（写真1.）のように運びませんでした。しかしながら、カラオケなどで、高齢者との交流を図ることが出来ました（写真2.）。

今年（平成30年）の夏祭り実施予定日（7月28日（土））は台風が関東地方を通過する予測とのことを受け、地域役員協議の上、夏祭り中止となりました。山車に新しい提灯、紅白幕（写真11.）、花飾り（写真13.）でお披露目したかったのですが、残念な結末となりました。昨年より山車・神輿の巡行コースは下図のようになり、地域の人に喜んでもらっております。巡行コースの設定に当たっては地元警察署の許可が必用で、交通安全



確保の視点から、なかなか難渋しております。

平成30年9月16日（日）地域の1つの自治会が主催する敬老会に呼ばれ、お囃子を披露することとなりました。

（4）将来に向けて

この夏 ある古老の家で、平成元年の夏祭りを撮影したビデオテ

ープが見つかりました。これを見ると、30年前の祭模様を知ることができ、今後の夏祭り実施の参考にしたいと考えております。

地域自治会と協力して、地元の子供たちに参加することの喜びを感じてもらえるような行事を作りたいと討議を重ねて進めております。商店が極めて少ないことから、寄付金を求めることも難しい現状の中で、どのように運営するかという問題も解決していかなければなりません。

(5) 活動模様の写真による紹介



写真 1. 2016 年の敬老会で山車を小屋から出す。



写真 2. 敬老会で、高齢者と交流を図る。



写真 3. 2017 年の夏祭り、雨が降り出す。
大太鼓にはブルーシートを掛ける。



写真 4. 雨にも慣れて次の休憩地に向かう。
山車のお飾りは、全損状態に。



写真 5. 2017 年 10 月の敬老会当日雨
山車小屋の山車の前に勢揃い、
敬老会開催の準備にはいる。



写真 6. 購入した新しい提灯で飾り、
山車小屋の中から敬老者を迎える。



写真 7. 2017 年 11 月飯能祭りに
師匠と見学に参加の
高校生、中学生と小学生。



写真 8. 2018 年 4 月つつじ祭り。見晴台の上に
会場を作る。購入した紅白幕を張り、座り机の
上に補強板張り、ボルトセットで更新した締太鼓。



写真 9. 2018 年 9 月自治会の敬老会に呼ばれる



写真 10. 踊り子がお客様に駄菓子を配ったり。

(6) 経費使途明細

収入	大同生命厚生事業団		100,000
支出	項 目	内 訳	金額 (円)
	祭提灯	30 個セット 30,132 円	30,132
	提灯用光源	SMD ペンダントライト 108 円 x24 ケ	2,592
		単 4 電池 (4 個入り) 108 円 x14 ケ	1,512
		試験用 LED ライト	216
	紅白幕	90cm x 2 間 単価 2,917 円、代引き、送料	6,858
	花飾り	折り花 50 円 x 120 ケ	6,000
		竹ひご 150 円 x 20 本	3,000
	補強用板材	2,080 円 x 2 枚	4,160
	太鼓用品	締太鼓 35cm 用ボルトセット 7,560 円 x 2 対	15,120
		みるみる上達君 3,240 円 x2 ケ	6,480
		みるみる上達君用 4 脚セット 1,620 円 x 2 ケ	3,240
		スパナ 108 円 x 2	216
	駄菓子	駄菓子	7,455
	交通費	飯能祭り見学	1,500
	事務費	プリンタ用インク、ビデオテープ → BD 変換など	12,860
	支出計		101,341



写真 11. 紅白幕 2 対、祭提灯 30 ケ、SMD ライト 24 個、サンプルがダンボール箱の上、隣に単 4 電池。



写真 12. 舞台用補強板 2 対、手前の 2 つが「みるみる上達君」後ろの 2 台の締太鼓は紐からボルトに変えたもの。



写真 13. 折り花と竹籤
竹籤の長さ 120cm、一本に赤、青、黄の花。花は紙からビニール